

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山リサイクル発電株式会社
福山リサイクル発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町107番8

(3) 業種

ごみ処理業 8816

2 計画の期間

本計画の期間は、2006年度を基準年度とし、平成2019年度から2023年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 売電量（千kwh）当りのCO₂排出量（t）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))			
		上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	2019年度	年度	年度	年度	年度
	2006年度	2023年度	2019年度	年度	年度	年度	年度
エネルギー 起源CO ₂	0.04528	0.03426 -24.3	0.03214 29.0	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂	0.63212	0.62644 -0.9	0.62274 1.5	100.0	100.0	100.0	100.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	0.04430	0.04094 -7.6	0.03999 9.7	100.0	100.0	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.72170	0.70165 -2.8	0.69487 3.7	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原 単位（原油換算 kl）	0.05188	0.04836 -6.8	0.04598 11.4	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	前年度に引き続き、ガス化溶融炉の主羽口送酸量及び酸素濃度の見直しを行い、溶融炉の運転のパターン化を更に充実した結果、補助燃料である石炭コークスの使用量の削減が図れた。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	補助燃料使用量削減	補助燃料である石炭コークスの使用量が対前年比22.6%減少したが、これはRDF処理量も概ね同程度減少したことに依るものと思われる。	2018年度実施した溶融炉主羽口に供給する送酸量及び酸素濃度の見直し結果をパターン化し、安定燃焼による石炭コークス使用量の削減措置を2019年度も継続し、石炭コークスの使用量の削減を図った。
2	電気使用量の削減	工場全体の電気使用量の削減は対前年比24.4%の削減となったが、RDF処理量も22.4%減少したことに伴うもの大きいと思われる。前年に引き続き、機器運転等の運用について使用量削減を徹底した。	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機運転について冷房28℃、暖房20℃を表示し、管理を徹底した。 ・不要照明器具の消灯を徹底した。
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。